

2024 年度

事業計画書

一般財団法人ライフ・プランニング・センター

目 次

一般財団法人ライフ・プランニング・センター	
「理念」と「運営の基本方針」	----- 1
1. 事 業	
(1) 健康教育サービスセンター	----- 2
(2) 日野原記念クリニック	----- 3
(3) 日野原記念ピース病院	----- 4
(4) ピースハウスホスピス教育研究所	----- 5
(5) 訪問看護ステーション中井	----- 6
2. 運 営 ・ 管 理	----- 7

一般財団法人ライフ・プランニング・センター

理 念

一人ひとりが与えられた心身の健康をより健全に保ち、全生涯を通して充実した人生を送ることができるように共に歩む。

運営の基本方針

1. 一人ひとりが健康について理解を深める機会を提供する。
2. 生活習慣の改善により「自分の健康は自分で守る」ことができるように、根拠に基づいた医療と教育を実践する。
3. 成長と発達、病気や老化の過程を通して生涯にわたり、生活の質（クオリティ・オブ・ライフ）が豊かに保たれるように支援する。
4. 地域の医療・介護・保健・福祉の発展に貢献するため、有機的連携をはかり、人材の育成に取り組む。
5. 働きやすい職場環境をつくり、互いの役割を尊重しチームワークを実践する。
6. 上記5項目を実践し継続するために、健全な財団経営を行う。

1. 事業

(1) 健康教育サービスセンター

【 2024年度事業目標 】

財団の理念及び基本方針に則り、質の高い専門的研修事業を提供する施設として、活動持続可能な、健全運営を維持する。

【 事業目標達成のための具体的活動計画 】

A. 研修参加者等の確保

- ① がんのリハビリテーション研修は 2023 年度と同様に、がんリハ個別学習 4600 人、がんリハ集合学習は 2400 人、リンパ浮腫研修も前年度同様 300 人程度
- ② 研修会実施の場合は 300 人以上の集客、調査実施の場合は回収率 50%以上((がん政策研究事務局)
- ③ 財団広報活動では、作成された会報を財団の情報発信として役立てる方法の模索

B. 運営継続のための人事、組織管理

- ① 管理職人材の育成、及び経理処理の合理化
- ② 担当分野にこだわらない協力体制の構築
- ③ 模擬患者活動における事務処理の合理化と軽減化

C. 運営継続のための職場環境

- ① 他企業の施設に間借りした状態が 2020 年より 4 年間続く。

D. 質の高い教育、研修のためのハード部分への試み

- ① 事務所としてのスペースが狭く、理想的なオフィス環境ではない。

E. 質の高い教育、研修のためのソフト部分への試み

- ① 現研修事業では e ラーニング配信が重要であり、委託企業の見直しの検討
- ② 健康教育 SC の HP の早急な改訂
- ③ 科研 HP の更新

F. 財団他部署との連携

- ① 在職勤務 3 年以内の職員が 60%を占め、財団への帰属意識醸成が進んでいない状況
打破の一環として全財団参加の研修会の実施

G. 社会貢献

- ① 医療者や患者研修に関わっており、業務を通して社会貢献にもつながる意識の持続

(2) 日野原記念クリニック

【 2024年度事業目標 】

- A. 経営の安定化
- B. 業務内容の改善
- C. 職場環境の改善

【 事業目標達成のための具体的活動計画 】

- A. 経営の安定化
 - ① 閑散期の受診者数前年度 1 割以上増加
 - I 閑散期初回受診者への割引料金設定
 - II ネット予約の充実とポータルサイトでの販促
 - III 午後ドック開始
 - IV 対外広報及び営業活動の活性化による外回り渉外活動増強
 - V 受診者対応改善によるリピーター増加
 - ② 受診料金増額
 - ③ オプション検査販促、新規オプション検査の追加
 - ④ 婦人科;HPV ワクチン・風疹抗体検査などの件数増加
 - ⑤ 胃内視鏡;キャンセル件数減少
 - ⑥ 各種資材等購入に際し、事前の慎重な検討
 - ⑦ 近隣健診施設の調査
 - ⑧ 人間ドック、一般健診料金の再検討
- B. 業務内容の改善
 - ① スタッフの質的向上
 - I スタッフの育成計画策定と実行
 - II 職員各種技能資格・試験への補助の検討
 - ② スタッフ担当業務の効率化の為の見直し(IT 化等の検討)
 - ③ 要精査受診者への追跡調査の実施(対象者をピックアップし 3 か月後にアンケート用紙を郵送)
 - ④ 3 年後のクリニック移転への準備の検討
 - I 次期健診システム・電子カルテへの取組
 - II ペーパーレス化への取組(本年度は心電図のペーパーレス化)
 - III 次期医療機器(CT、腰椎・大腿骨 DEXA、OCT など)の検討
 - IV 画像読影外部委託業者の調査・検討
- C. 職場環境の改善
 - ① 職場内の定期的な打ち合わせの実施
 - I 全体、各課等、階層別

Ⅱ 職場内コミュニケーションツール導入の検討(システム部)

② スタッフの心身の健康維持

- I 各部署の定員数の設定と実際の配員数との差異是正(医事、技師、看護師、医師、等)
- Ⅱ 各スタッフの担当業務範囲の適切な設定
- Ⅲ 長時間労働の回避(三六協定の遵守、残業は上司の許可を事前に得た後に)

(3) 日野原記念ピースハウス病院

【 2024年度事業目標 】

- A. 緩和ケアの専門施設として、質の高いケアの提供を継続していく。
- B. 地域の保健・福祉関係者との連携・協力関係を強化し、患者・家族が希望する場所で安心して療養できるよう支援していく。
- C. 教育研究所と協力し、緩和ケアの教育・啓発普及活動を推進する。

【 事業目標達成のための具体的活動計画 】

- A. 緩和ケアの専門施設として、質の高いケアの提供の継続
 - ① 病院機能評価受審に向けた準備を通して、医療の提供体制、病院運営体制を整える。
 - ② 安定したケアの提供のため人材を確保し、働きやすい職場環境を作る。
 - ③ 早期からの緩和ケアの提供を目指して緩和ケア外来を充実させていく。
 - ④ 緩和ケアを必要とする人にタイムリーに対応し、一日平均患者数 16～18 人を維持する。
 - ⑤ 診療記録、事務管理記録等の電子化を進める。
 - ⑥ 診療記録・オーダーリング・事務管理記録等の電子化に合わせた管理・連携体制を確立していく。
- B. 地域の保健・福祉関係者との連携・協力関係を強化し、患者・家族が希望する場所で安心して療養できるよう支援していく。
 - ① 連携する医療機関との交流会(事例検討会など)を開催し、課題の共有とともに今後の方向性をともに考えていく。
 - ② 患者・家族の多彩な要望に可能な限り応えられるよう研鑽を積む。
- C. 教育研究所と協力し、緩和ケアの教育・啓発普及活動を推進する。
(ピースハウスホスピス教育研究所 【事業目標達成のための具体的活動計画 A、B 参照])

(4) ピースハウスホスピス教育研究所

【 2024年度事業目標 】

- A. 緩和ケアに従事する専門職、ボランティアへの教育プログラムの提供
- B. 緩和ケアの啓発普及活動から遺族ケアまで、教育・支援プログラムの充実
- C. 日本ホスピス緩和ケア協会の事務局として日本の緩和ケアの発展に貢献

【 事業目標達成のための具体的活動計画 】

- A. 緩和ケアに従事する専門職、ボランティアへの教育プログラムの提供
 - ① 事例検討会、Study Day などを通しての学習支援
 - ② 研究活動の支援
 - ③ 医療者のための緩和ケア研修の受入れ
 - ④ ボランティア養成講座の開催
- B. 緩和ケアの啓発普及活動から遺族ケアまで、教育・支援プログラムの充実
 - ① 市民を対象とした緩和ケアの啓発普及活動
 - ② ビリブメントケア委員会、ピースハウス家族の会と協力し、遺族ケアの推進
- C. 日本ホスピス緩和ケア協会の事務局として日本の緩和ケアの発展に貢献
 - ① 緩和ケアの教育・普及活動、ケアの質の評価と向上に関する事業
 - ② 国内外の緩和ケア専門団体との情報交換、交流事業の推進など

(5) 訪問看護ステーション中井

【 2024年度事業目標 】

- A. 経営の安定化を図る
- B. 地域の現状ニーズと高齢者の特徴を理解したケアの提供が出来る
- C. 法人内及び周辺地域の医師・行政・地域包括支援センター・サービス事業者とスムーズな連携を図る

【 事業目標達成のための具体的活動計画 】

- A. 経営の安定化を図る
 - ① 訪問看護目標件数：月 300 件、年間 3600 件以上の訪問件数〔 1 人あたり 81.1 件/月 〕
居宅介護支援目標件数：月 60 件、年 720 件
 - ② 業務の効率化・見直しによる管理費支出の適正化
 - I 業務や職務分掌の定期的な見直し

Ⅱ 記録物の評価見直し

Ⅲ 時間外勤務事前申告制等による意識改革や時間外勤務の削減

③ 積極的な利用者の確保により、医療診療収入を上げる

I 地域の病院・診療所との連携を図り、日頃からの実績を積み重ね、依頼してもらえる関係づくりをする(初回訪問後には必ず報告をし、その後も必要に応じて連携・連絡を密に行う)

Ⅱ 地域の行政やサービス事業所への連携を強めるとともに、安心して任せられる St として利用を働きかける(きちんと報告を入れる、話しやすい、相談しやすい関係性を築く)

Ⅲ PH 病院というバックベッドがあるという強みを生かした利用者確保のための情報提供

④ 働きやすい、働き続けることのできる職場環境を構築する

I 定期的なスタッフとの面談を行い、スタッフの要望をくみ上げ、良好なチームワークを築き、円滑なコミュニケーションを図るための第一歩とする

Ⅱ 希望通りの休暇や研修のための機会は必ず取得できるよう調整を行う

Ⅲ 情報共有や「ホウ・レン・ソウ」を確実にかつ積極的に行い、相互理解を深める

Ⅳ ハラスメント研修や業務改善会議など開催し、働きやすい環境構築を行う

V 災害や感染症が起こってもサービスが安定的・継続的に提供されるよう業務継続計画を策定する。

B. 地域の現状ニーズと高齢者の特徴を理解したケアの提供が出来る

① ケアのマニュアル化と質の高い看護・支援の実践

I 積極的な研修参加と伝達講習の実施など個人や組織としての向上を図る

Ⅱ 現在行っているケア技術の維持・向上のための月 1 勉強会の継続

Ⅲ 利用者アンケートを実施し、利用者の要望に添う看護・支援の提供につなげる

② 社会状況に応じた地域の現状ニーズの把握に努める。

I これまでの電話や FAX だけでなく、ICT を利用する。

C. 法人内及び周辺地域の医師・行政・地域包括支援センター・サービス事業者とスムーズな連携を図る

① 周辺地域の医師との積極的な連携を図り、医師、利用者から St を利用して良かったと思ってもらえる働きかけをする

I 開業医からご依頼いただいたケースは必ず承諾する

Ⅱ 定期的に情報提供しながら、治療や療養の方向性の確認を行う

② ケアマネジャーやサービス事業者との関係を良好に保ち、医療・介護連携において中心的コーディネーターとして役割を果たし、有効的な事業所活用につなげる

I 利用者を取り巻くチームメンバーとして専門的見地から積極的な働きかけ・情報共有を行う

Ⅱ 身近な医療者として、相談しやすい関係を築き、有効的な事業所利用につなげる

③ 法人内でのコミュニケーションをしっかりと図り、事業所の役割をしっかりと果たす

I 法人本部や教育研究所・ピースハウスチームメンバーと密なコミュニケーションを図る

Ⅱ ピースハウス病院患者について、在宅にいても安心して過ごせるように協同する

2. 運営・管理

【 2024年度目標 】

当法人が、健全且つ継続的な法人としてその使命を達成することができるように、コンプライアンスとガバナンスを尊重した、効果的・効率的な組織運営・管理を行う。

【 目標達成のための具体的活動計画 】

- ① 各部署と連携し、2024 年度事業計画・予算の周知徹底と進捗の把握により、円滑な業務遂行を図る。
- ② 公益目的支出計画の完了に伴う定款の一部改訂、及び各種規程類の整備・アップデートを行う。
- ③ 法律、法令等に基づく適切な人事運営・管理を行うと共に職員の待遇改善に努める。
- ④ 理事会・評議員会・LPC 運営会議等の適切な運営を行う。
- ⑤ 業務効率化に繋がる IT 化を図る(対象: 社会保険、経理・会計、等)。
- ⑥ 2027 年 7 月に予定されている笹川記念会館跡地に竣工するビルヘクリニックが移転する為の各種事項の前広な計画立案の検討を行う。

[理事会・評議員会の開催予定]

理 事 会 : 2024 年 6 月 12 日(水)

2024 年 10 月 (日時未確定)

2025 年 2 月 (日時未確定)

評議員会: 2024 年 6 月 26 日(水) ---- 定時評議員会

2025 年 2 月 (日時未確定)

【 刊行物 】

- ① 年報 2023 (令和 5 年度 事業報告書) 2024 年 6 月発刊予定
- ② 季刊誌 ライフ・プランニング・センター 2024 年 4 月・7 月・10 月・2025 年 1 月発刊予定